

東久留米特別支援学校の見学会報告

2023年11月30日

就労部会

令和5年8月17日（木）の就労部会において、関係機関とのネットワークづくりや情報交換を目的に東久留米特別支援学校の見学会を行うこととなりました。以下に見学会の報告を致します。

1. 日時 令和5年10月25日 13:30～16:00（就労部会員以外は15:00頃迄）

2. 場所 東京都立東久留米特別支援学校（東久留米市野火止2－1－11）

3. 参加者 15名

えいぶる1名、広域地域ケアセンターバオバブ1名、森の会 プラタナス1名、就労支援事業所コイノニア1名、活動センターかなえ1名、東久留米市障害者就労支援室2名、きぼう工房東くるめ1名、すばる2名、さいわい福祉センター2名、NPO武蔵野の里3名、東久留米市障害福祉課1名

4. 実施内容

（1）概要の説明（プロジェクターを使用）

東久留米特別支援学校は高等部であり、普通科（25学級）と職能開発科（12学級）の二つがある。

校訓は、知（学び続ける知者であれ）、仁（心を思う仁者であれ）、勇（果敢に挑む勇者であれ）
やりたいこと、出来ること、社会（会社）から求められていること（社会性）

教える、支援するというより、共に戦う意識が大切

高校卒業の資格という点では、特別支援学校は一般の高等学校と同じ。

卒業に必要な在籍年数は、一般の高校は3年間以上であるのに対し、特別支援学校は3年間である。

今の社会の雇用環境は、終身雇用型から転職を何回か行う形に変わってきているので、カフェ事業部、クリーン事業部（CHK）、ロジスティクス事業部等いろいろな形態の仕事の環境を提供し、生徒に経験してもらうことにより、転職、職種転換等に対応できることを目指している。

（2）見学

2チームに分かれて見学をした。

職能開発科のクリーン事業部（CHK）、ロジスティクス事業部、ペーパー事業部、フォレスト・コンポスト事業部、フード事業部、カフェ事業部、ファーム事業部、オフィス事業部、総務・マネジメント部を見学し、質問等を行った。

（３）質疑応答

- ・生徒数と教員の人数を教えてください。
生徒２５０人、先生９０名
- ・入学対象の障害を教えてください
知的障害の方（発達障害のみの方は対象外）
- ・重度重複学級と普通学級の方が途中で変更になることはあるのでしょうか？
学級分けは入学時に決めて途中で変更することはありません

（４）就労部会会員による感想、意見交換

- ・大変規模の大きな学校であることに驚いた。
- ・進路指導のフレーム（インターンシップ・現場実習と授業）は、東久留米特支で作ったもので、学習指導要領の基準を満たしつつ、社会情勢、生徒のニーズ等を考えている。
- ・特別支援学校を見学したことは初めてだったので、あまりにも初歩的な質問をしてしまい、申し訳なかった。
- ・精神障害など、他の分野の施設の方は最初はなかなかわからないと思う。他方、そのようなやりとりの中からわかることもあった。
- ・請負作業の工程を生徒が１０段階で管理するやり方は作業所でも活用したいと思った。